

2026 年 8 月 24 日（第 1.1 版）

消化器内科に、通院又は入院中の／過去に通院又は入院された患者さんまた
はご家族の方へ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

〔研究課題名〕 自己免疫性胃炎における血清ガストリン値と組織所見の関係

〔研究機関名・長の氏名〕 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

〔研究責任者所属・氏名〕 北海道大学病院 光学医療診療部・小野 尚子

〔研究の目的〕 自己免疫性胃炎における高ガストリン血症*と関係する組織所見を明らかにすること

※高ガストリン血症とは、ガストリンという主に胃で産生される消化管ホルモンの値が異常高値となる状態を指します。このホルモンは、胃酸の分泌などに関わっています。

〔研究の方法〕

○対象となる患者さん

自己免疫性胃炎の患者さんで、2023 年 11 月 14 日から 2026 年 7 月 31 日までの間に当院で内視鏡検査を受けた方のうち、「北海道大学病院 消化器内科 内視鏡グループ：診療目的で採取された血液・組織・消化管廃液や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用について」という研究について文書による同意を得たうえで検体が保管されている方。

○利用する検体・情報

*情報については 2026 年 7 月 31 日までのカルテ情報を収集します。

検体：生検の際に採取した胃の検体の残余

情報：年齢、性別、診断名、合併症、血液学的検査結果、ピロリ菌検査結果、内視鏡画像、病理組織診断結果など

〔研究実施期間〕

実施許可日(検体・情報の利用開始：2026年10月頃)～2029年6月30日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

2026 年 8 月 24 日（第 1.1 版）

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院光学医療診療部 担当医師 小野尚子

電話 011-716-1161(内 5756) FAX 011-706-7867